

ここが聞きたい!



甲斐 幸博 (緑水会)



大河ドラマ鎌倉殿の13人の観光誘客促進
県東部・伊豆半島が舞台になる22年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を絶好の機会と捉え、誘客促進にどうつなげるのか。

静岡県と東部・伊豆地域の市町と連携し、ドラマゆかりの地の調査、観光施設等をセットにした旅行商品の造成、情報発信や機運醸成など、市町の枠を越えた広域周遊の誘客促進策を講じていく。



地域共生社会の今後の取り組み

複雑化が進む地域の生活課題を解決し、住民の生活の安心・安全を守るため、地域共生社会の実現に向けてどう取り組んでいくのか。

地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援体制を構築するには、複雑・複合的な課題を解決する既存の相談支援機関の連携・調整を行う多機関協働機能が必要となるため、包括的相談支援体制構築会議を設置して検討を進めていく。

他の質問事項

生活困窮者支援の実態と対策



村田 耕一 (公明)



社会的孤立にならないようにするための支援

気軽に話せる街中ほっとサロンは常設型だが、孤立を余儀なくされている方のために地域へ巡回し、出張サロンはできないか。

従来の常設型の強化を図るとともに、地域におけるコミュニティの場として活用されている居場所やサロンへ、保健師、栄養士などの専門職が向かって相談を行うほか、出張おれんじほっとサロンの実施に向けプログラムを検討し、出張型の支援体制を推進していく。



保育園申し込みから結果通知までの期間短縮

一次募集期日から結果通知まで約2カ月半、二次結果通知までさらに約3週間かかるが、AIを導入し、審査期間を短縮できないか。

現状においては、審査期間を短縮することは非常に困難であるが、AIOCR等のICT機器を活用することにより、業務の効率化や作業期間の短縮を図れる可能性があることから、今後も引き続き、ICT機器の導入について、調査研究を行っていききたい。

他の質問事項

高齢者バス等利用助成事業の拡充を



大石 一太郎 (政和会)



企業誘致に伴う立地選定と誘致課題

ファルマバレー構想は、東部の都市連携と産業立地にインパクトを与える事業だが、企業誘致の実績と財政効果を伺う。

ファルマバレー関連企業は、平成24年度以降、大手工場企業2社を含む9社の誘致が決定し事業所を開設している。9社の法人市民税等の収収が令和元年度までで累計3700万円を超えていることから、誘致に対する財政的な効果も十分なものがあると考えている。

サ高住と、特養への入所者問題

施設入所は利用者・家族の判断だが、自立者・軽度者はサ高住に、要介護3以上の方は特養にと状況に応じて入所調整はできないか。

特養などへの入所調整については、ご本人およびご家族などからの相談に応じ、ケアマネジャーや市役所内の総合相談窓口であるシルバークンシェルジュまたは地域包括支援センターが、相談者の現状を把握した上で、ご意向に沿った選択ができるよう支援している。

サ高住：サービス付き高齢者向け住宅。一般的な賃貸住宅に近い自立的な生活を送ることができる住宅。
特養：特別養護老人ホーム。原則要介護3以上の方が入所する介護保険施設。

他の質問事項

非正規職員の処遇改善と職員人事の課題とは



宮下 知朗 (新未来21)



誰もが利用することのできる魅力ある公園に

生活基盤、地域コミュニティの拠点である公園の魅力をより高めるため、背伸ばしベンチなどの健康器具の整備を推進してはどうか。

背伸ばしベンチなどの整備については、散歩などによる公園利用者がベンチに腰掛けて単に休むのではなく、ストレッチをしたりすることで健康づくりに効果的と考えられる。今後、地域の意向や公園の特性を踏まえた上で、順次設置を検討していく。



公共施設の包括管理導入による期待効果は

各公共施設の維持管理・修繕業務を包括的に管理する包括施設管理委託の導入を推進するにあたり、民間活力に期待する効果は何か。

包括施設管理委託の導入により、事務量の大幅な低減とコスト削減が図られるほか、統一的な施設管理による管理の質の向上、施設情報の見える化による効率的な修繕の実施、民間のビルメンテナンスの専門家との連携による職員のスキルアップなどが期待できる。

他の質問事項

包括管理の導入に向け地元事業者への配慮を



岡田 美喜子 (新未来21)



地域と地域包括支援センターとの連携強化

高齢者支援における地域包括支援センターの果たす役割は大きい。自治会と民生委員との連携強化が必要と考えるが、取り組みを伺う。

地域の方々による高齢者の見守りは、地域包括支援センターの支援活動に不可欠のため、民生委員や自治会の皆さまに地域包括支援センターを広く知っていただき、連絡しやすくなるよう、連絡先記載の周知マグネットシートを配付し、協力体制を強化していく。

ストリートに音楽が聞こえるまちに

ポストコロナに文化芸術により地域の魅力を高め活性化するために、街中で音楽活動等を行える仕組みづくりを構築できないか。

街中で音楽活動等を行うことができる場所の選定およびルールづくりを含めた検討会を立ち上げ、仕組みづくりの構築に向けて実証実験を行う。市民文化会館屋外広場については、市民文化会館運営委員会において、屋外広場利用のルールづくりに向けて検討を行っていく。



石井 真人 (無党派)



GIGAスクール構想による新しい教育体制

欠席した生徒、不登校や特別な配慮が必要な生徒に対しタブレット端末は効果的と考えられるが、どのような活用方法を考えているのか。

さまざまな理由により登校することができない児童生徒は、タブレット端末を通じて授業に参加したり、特別な支援を必要とする児童生徒は、困り感に応じて必要なアプリをインストールしたりすることで、個々の状況に応じた学習が可能になるものと考えている。



スマート市役所による地域の公民館機能強化

ICTの導入で本庁と公民館を情報連携させ、本庁に行かずとも手続きが完結するような公民館機能の強化をすることはできないか。

本庁のタブレット端末と公民館との連携は、スマート市役所機能の一部としても有効な手段であるため、これらを踏まえ、さらなる公民館の機能強化に努めていく。

他の質問事項

三密回避のための来庁時間短縮についての検討